

便利なローラートレイ付広口容器(特許第4388785号)の使い方

この容器はローラーバケが直接入り、天面のトレイ部分で塗料をしごくことができる画期的な容器です。下記の使用法にたがってご使用下さい。使用するローラーバケはミドルローラーやスリムローラーが適しています。

使用方法

●使用前に容器を前後によく振り、中の塗料を均一にします。(フタが開くおそれがありますので、注意して下さい)

- ① フタが容器の中に落ちないよう、フタについているつまみを持ちながら、フタの矢印の方向と容器の角の間に、マイナドライバーを差し込んでフタを開けます。フタの裏や容器の口の裏に、半乾きの塗料がついていることがありますので、濡らしたウエスでふき取り、フタは保管しておきます。
- ② 右のようにラップをおおておくと、洗う手間がなくなり後始末が簡単です。
- ③ 棒などで容器の底までよくかき混ぜ、塗料を均一にします。
- ④ ローラーバケを容器の中に入れてローラー部分に塗料をつけます。
- ⑤ 天面のトレイ部分でローラーを転がし、塗料をまんべんなく広げて塗ります。
- ⑥ 塗装終了後は、トレイ部分や容器の口の周囲に付着した塗料をウエスなどでふき取り、軽くフタをした後、両手親指でフタの両端を強く押してフタを閉めます。②のようにあらかじめラップをしておくと、ラップを捨てただけでほとんど汚れずに後始末が簡単です。

容器をラップでおおう方法

- ②-1 サグ手はトレイ部の方へ倒した状態で、ラップを容器の天面より大きめにカットし、缶の天面全体をおおいます。(ポリ塩化ビニリデンのラップをお使い下さい)
- ②-2 ラップを容器の天面にフィットするように軽く押さえ、密着させ、余ったラップを缶側に巻きつけます。
- ②-3 容器の口の部分のラップにカッターナイフなどで切り込みをいれ、ローラーバケが入るようにします。カットしたラップは容器の口の側へ巻き込みます。
- ②-4 サグ手を持って場所を移動する時は、トレイ部のラップを容器の口の方へめくりあげてサグ手を持って下さい。再度、塗装する時はサグ手をトレイ部に倒しラップも元に戻して下さい。中の塗料が半分以下になった場合、ローラーハンドルを入れたまま持ち上げると、傾いた(約30°)不安定な状態になりますので、両手で支えて下さい。

使用上の注意

1. 塗装下地に腐敗層、カビ菌がついている場合があり、その菌が容器内の塗料に混ざり込むと保存中に塗料が腐敗することがあります。早めに塗料を使い切ってください。
2. 落下によりフタが開いたり、容器が変形することがありますので、容器の取り扱いに注意して下さい。



水性 屋上防水 遮熱塗料

日射反射率 UP!

屋上の表面温度上昇を抑える!

赤外線反射顔料 特殊中空ビーズ配合

最大 **13°C~9°C** 下がる↓

5L

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

標準塗り面積(2回塗り) **6~8㎡** 4~5分

乾燥時間
夏期/1~3時間
冬期/3~5時間

塗り重ねの目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

紫外線劣化防止剤(HALS)配合



水性 屋上防水 遮熱塗料

日射反射率 UP!

屋上の表面温度上昇を抑える!

赤外線反射顔料 特殊中空ビーズ配合

最大 **13°C~9°C** 下がる↓

5L

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

標準塗り面積(2回塗り) **6~8㎡** 4~5分

乾燥時間
夏期/1~3時間
冬期/3~5時間

塗り重ねの目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

紫外線劣化防止剤(HALS)配合

商品名

水性屋上防水遮熱塗料

成分

合成樹脂(アクリル)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、水

特長

- 特殊顔料と特殊中空ビーズの配合により高い遮熱効果を実現します。
- 厚塗りタイプの難防水塗料です。
- 特殊架橋システム及び紫外線劣化防止剤(HALS)により、耐候性・耐久性に優れた高品質塗料です。
- シート防水(防水材)への密着性に優れ、塩ビシート、アスファルト系防水材には密着します。
- 脱脂剤・脱脂剤・塩素に強い塗料です。
- 取り回しが簡単で、乾燥が速いタイプです。
- 容材の働きにより、滑り止め効果もあります。
- 万能ローラーバケで簡単にきれいに塗装できます。

用途

- 陸屋根やベランダの難防水・防漏(コンクリート・モルタル等)
- 各種シート防水(塩ビシート、塩化ゴムシート(EPDM)、アスファルト防水、ウレタン系防水、FRP防水等)

施工方法

- ① 塗装が古い古い塗膜は、皮スキワイヤー・ブラシ・サンドペーパーなどを使用して十分に除去します。
- ② 塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアク・カビ・藻などを取り除き、ブラシなどで十分に水洗いし、よく乾かします。
- ③ カビはカビ取り剤で、油分はペイント用溶剤で拭いてよく落とします。
- ④ 塗料が乾いた後は、あらかじめマスキングテープなどでおさえます。
- ⑤ アサヒペン水性屋上防水遮熱塗料専用シーラーで必ず下塗りします。(塩ビシート、アスファルト系防水材には密着します。又、下の下地処理の注意のように、油性シーラーでの下塗りが必要な場合もあります。)
- ⑥ 塗料は、棒などで容器の底から十分にかき混ぜて均一にします。
- ⑦ 塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
- ⑧ コーナーや端に塗りこむときは、先に少しバケで塗り、広い面積の部分はローラーバケ・コテバケ・平バケなどを使い、均一に塗ります。
- ⑨ 1回塗りの量が十分に乾いてから、必ず2回目まで塗り(0.4L/㎡程度)塗ります。
- ⑩ マスキングテープは、塗装後すぐに剥がします。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、水で濯いで下さい。

遮熱効果について

● 遮熱効果は塗装箇所、天候や環境、被塗物の状態、塗装条件、色などによって異なります。● 当社製水性屋上防水塗料の同系色との表面温度の自社比較試験では、ライトグレーが13℃、グリーン系は9℃前後低くなります。

下地処理の注意

- ① つるつるした面は、サンペーパーで表面を荒らしてから塗ってください。
- ② 穴・割れ・凹み・ゴミ・カビなどは、あらかじめセメントやコーキング材などで修繕しておきます。
- ③ コンクリート・モルタルの劣化が著しく、手で触れたら、粉が落ちたり、ホコリが落ちてくる場合は、せきで除去してから適量シーラーを塗り、乾燥させてください。
- ④ 古いコンクリートやモルタルに塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ず油性シーラーを下塗りして下さい。

保管上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保管し、子供が顔や顔面に塗らないように注意して下さい。
- ② 塗料は、しっかりとフタを閉め、直射日光や-5℃以下の場所、容器がさびやすいところを避けて保管して下さい。

危険

● 臓器の障害
● 水生生物に毒性

取扱い上の注意

- ① 表示の用途以外に使用しないで下さい。
- ② 目に入った場合、直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ③ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ④ 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ⑤ 皮膚に付着した場合には、大量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

緊急処置

● 目に入った場合には、直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

● 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

● 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

● 皮膚に付着した場合には、大量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

大阪市鶴見区鶴見4-1-12

http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製 01-1112